

2024年6月期 第3四半期決算の補足資料

株式会社インテージホールディングス

証券コード：4326

2024年5月9日

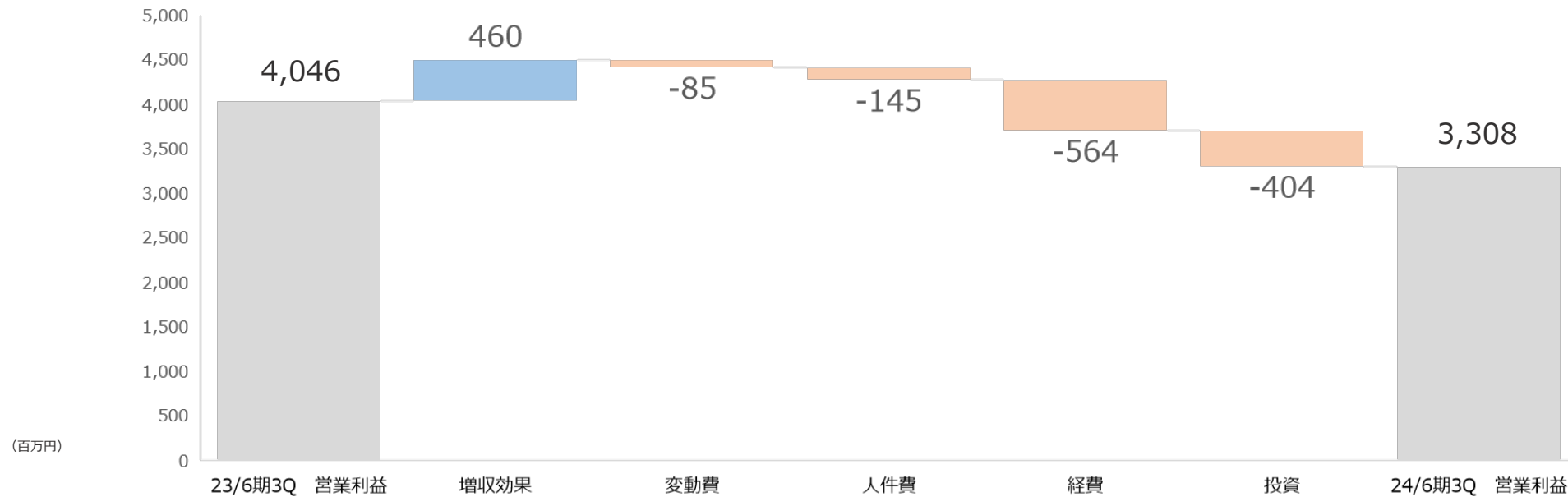
第3四半期連結累計期間は、(株)インテージ、(株)インテージテクノスフィア、(株)協和企画の売上増加により増収を確保するも、売上拡大を見込んだ体制強化に伴う人件費・経費増と領域拡大を目指した投資の増加、(株)NTTドコモとの資本業務提携関連費用の計上もあり減益。

連結損益計算書

(百万円)

	22/3実績	23/3実績	24/3実績	前年比 (%)	通期計画
売上高	47,020	47,889	48,348	+1.0	64,500
営業費用	41,989	43,842	45,040	+2.7	—
営業利益	5,030	4,046	3,308	△18.2	4,000
経常利益	5,250	4,225	3,554	△15.9	4,300
親会社 株主利益	3,842	3,767	2,394	△36.5	3,000
EPS (円)	96.75	97.71	62.84	—	78.80

増収効果（460）はあるが、計画に対しては未達のため、
人件費（145）経費（564）投資（404）の増加分をカバーしきれず営業利益が減少



売上高

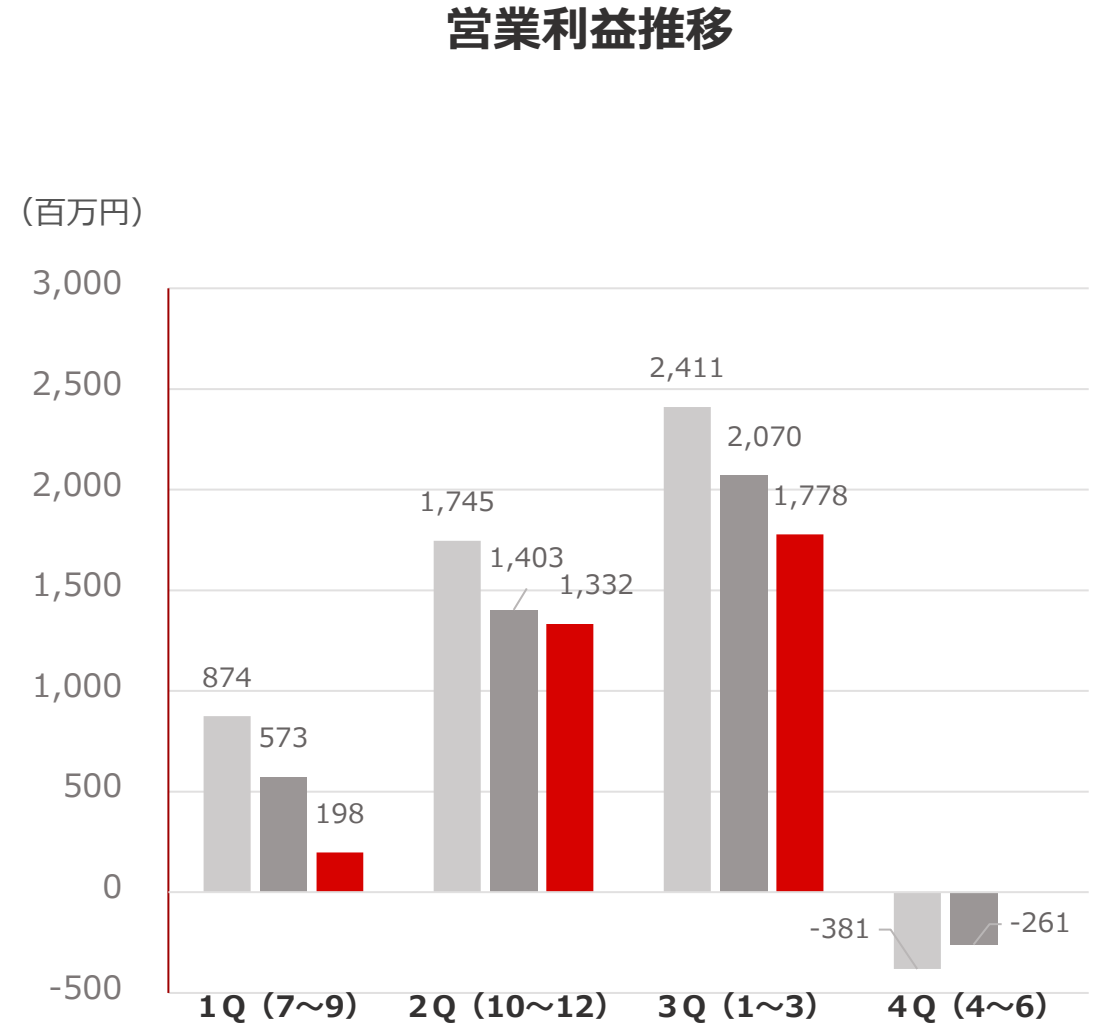
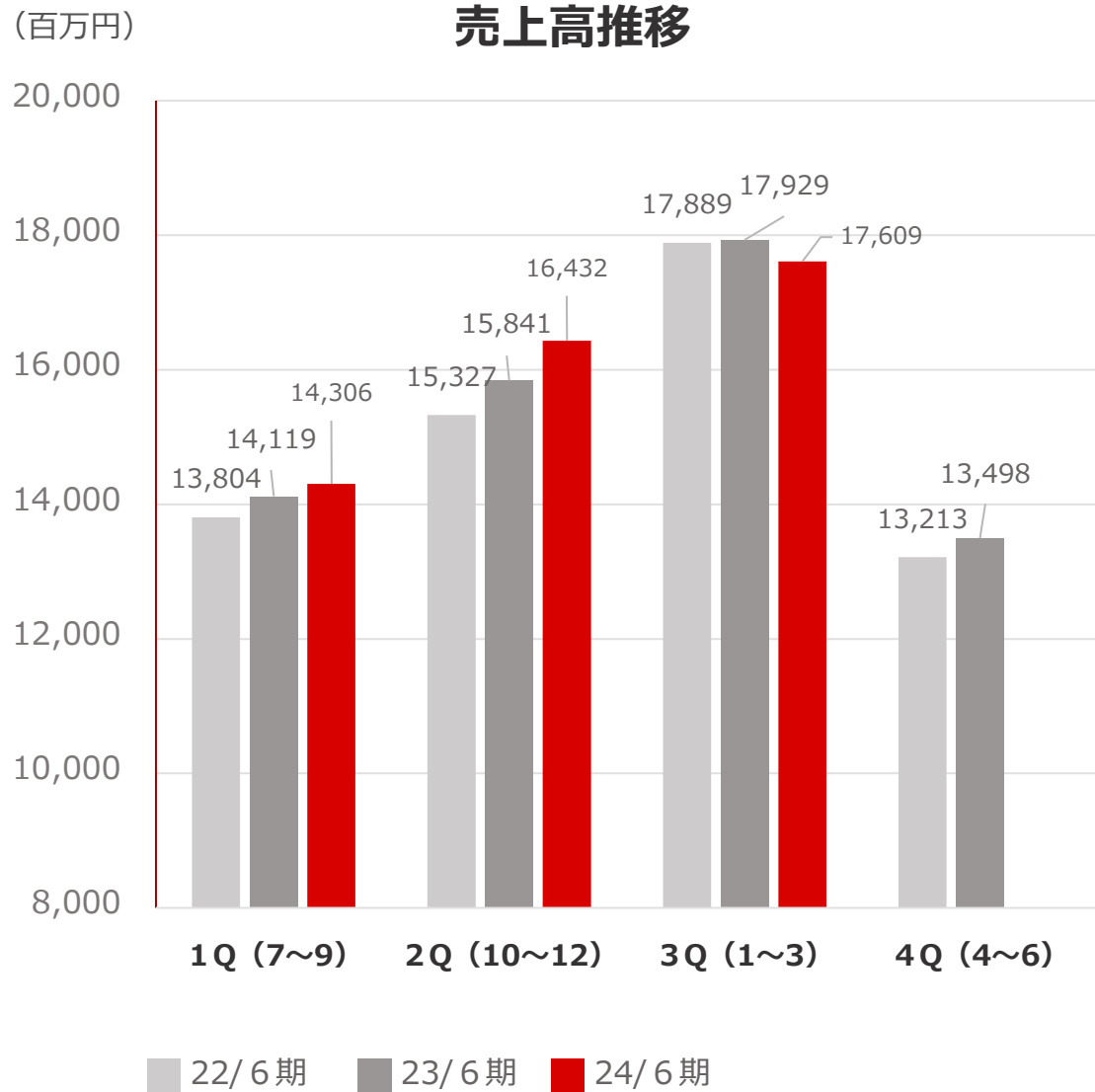
- ・(株)インテージおよび(株)インテージテクノスフィアの増収、ヘルスケアにおける(株)協和企画の大型案件の獲得等で増収も、計画に対しては未達

経費・人件費

- ・売上拡大を見込んだ前倒しの人員体制強化による人件費、システム利用料等の外注委託費用の増加
- ・(株)NTTドコモとの資本業務提携関連費用の増加

投資

- ・SCI刷新およびCXマーケティングプラットフォームに係る投資費用の増加



単位：百万円		24/6期 3Q実績 (A)	24/6期 通期計画 (B)	通期計画 進捗率 (%)	24/6期 計画残 (B-A)	(参考) 23/6期 通期実績
連結	売上高	48,348	64,500	75.0	16,152	61,387
	営業利益	3,308	4,000	82.7	692	3,785
	経常利益	3,554	4,300	82.7	746	4,073
	親会社 株主利益	2,394	3,000	79.8	606	3,505

事業環境および通期計画について

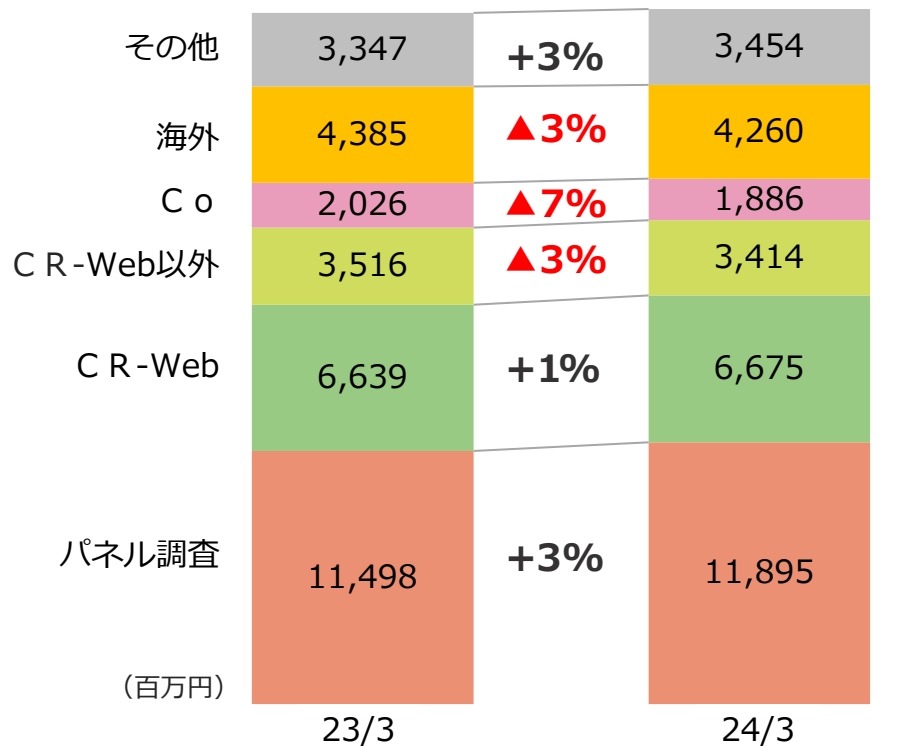
事業環境①：(株)インテージにおいては繁忙期となる3Q売上は前年を上回るも一部顧客の予算引き締めの影響もあり計画に届かず。年間に向けては主力のパネル調査が堅調に推移。また、(株)インテージリサーチにおいて官公庁の大型案件を獲得、第4四半期以降に売上計上を予定

事業環境②：ヘルスケアのリサーチニーズは復調の傾向が続き、(株)協和企画が一部大型案件の新薬のプロモーションや講演会が業績を押し上げるものの、CROが計画比前年比ともにマイナスでその分を埋められず。年間も同様の傾向を見込む

事業環境③：ビジネスインテリジェンス事業は旅行業界SI案件に加え、パートナー連携によるデータ統合基盤構築などのDX支援が堅調に推移し売上並びに収益に寄与

通期計画：3Q終了時点で進捗遅れはあるものの、上記の事業環境を勘案し通期の予想は据え置き

商品別売上



- **その他**：官公庁案件、RnIのCODEなど
- **海外**：海外子会社の売上（ヘルスケア除く）
- **Co**：コミュニケーション分野（i-SSP、Media Gauge、di-PiNKなど）
- **CR-Web以外**：Web調査以外の手法によるカスタムリサーチ（定性調査、オフライン調査、アウトバウンドなど）
- **CR-Web**：カスタムリサーチのWeb調査
- **パネル調査**：SRI+、SCIなど

増収減益

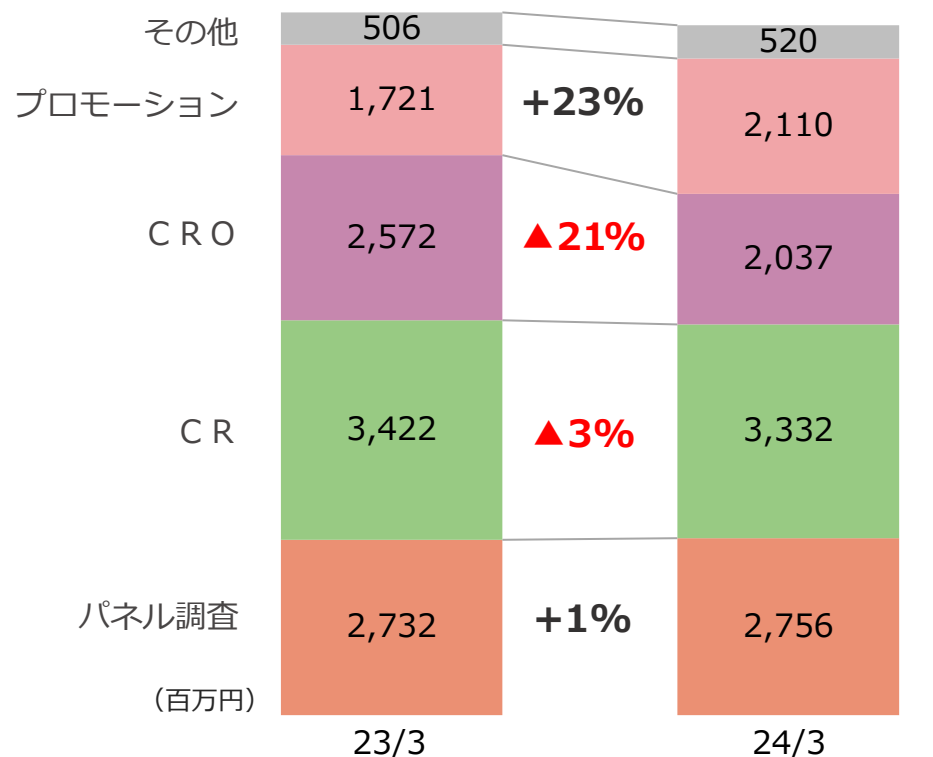
(百万円)

	23/3	24/3	前年同期比	営業利益率
売上高	31,413	31,586	+0.6%	
営業利益	1,886	1,352	△28.3%	4.3%

<決算のポイント>

- パネル調査は堅調に推移
- カスタムリサーチは前年同水準で推移したものの、特定のお客様のマーケティング予算引き締めの影響を受け、計画を下回る水準で進捗
- コミュニケーション分野は前年を下回る水準で推移
- 海外事業はタイ、シンガポールは好調に推移
- 投資活動は、CXマーケティングプラットフォームの確立、及びSCIの刷新に向けて計画通り進捗
- 利益面は、投資費用の増加、及び売上拡大を見込んだ人員体制強化などにより費用が増加した一方で、売上計画未達によりコスト増を吸収できず減益

商品別売上



- **その他**：海外子会社のヘルスケア売上など
- **プロモーション**：(株)協和企画におけるプロモーション関連事業の売上
- **CRO**(医薬品開発業務受託機関)：製造販売後調査など
- **CR**：製薬企業・医療機器メーカー等向けのカスタムリサーチ
- **パネル調査**：SRI +、Impact Track、処方箋DBなど

減収減益

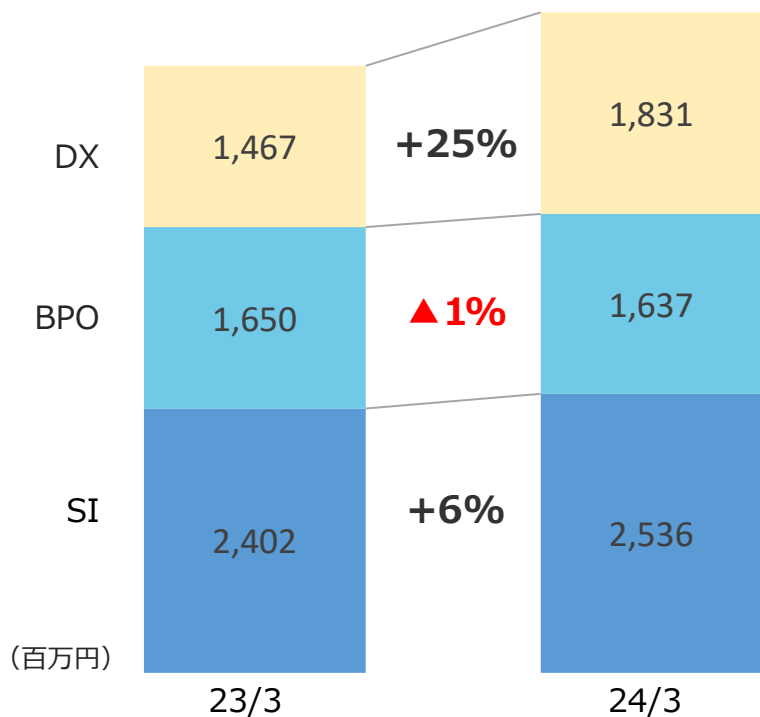
(百万円)

	23/3	24/3	前年同期比	営業利益率
売上高	10,955	10,757	△1.8%	
営業利益	1,639	1,407	△14.2%	13.1%

<決算のポイント>

- リサーチ事業において、昨年同期の大型案件の反動減の影響があったものの、医療領域のカスタムリサーチは回復基調にあり前年同水準で推移
- CRO（医薬品開発業務受託機関）は、前年を下回る水準で推移。学会への参画やwebページを活用した営業活動などにより新たな案件創出を推進
- (株)協和企画においては、新薬上市案件と大型案件の獲得に伴い売上が伸長しており、引き続き粗利率の改善に取り組む
- 利益面については、CROの売上減少の影響を受け減益

分野別売上



- DX：企業のDX関連領域の推進支援
- BPO・保守運用：業務効率化等のBPOサービスやシステム維持管理など
- SI：システム開発など

増収増益

(百万円)

	23/3	24/3	前年同期比	営業利益率
売上高	5,519	6,003	+8.8%	
営業利益	519	548	+5.4%	9.1%

<決算のポイント>

- (株)インテージテクノスフィアにおいて、旅行業界を中心としたSI案件の受注残が順調に積み上がり前年を上回る水準で推移
- DX支援領域や健康情報領域も堅調に推移
- (株)ビルドシステムについても前年を上回る水準で推移
- 利益面については、売上の増加により増益

株式会社インテージテクノスフィアの事業内容

グループのシステムソリューションを担う。システム構築及び運用、データセンター運用など
 ソリューション例：旅行代理店向け精算システム、健康管理支援サービス、製薬企業の営業情報システム、出版POSシステム、商圈分析、AIソリューションなど



×



ドコモが有する 約1億人※の顧客基盤と豊富な行動データを、当社グループが持つデータ収集から集計・分析・可視化等のデータハンドリング力を通じて、データの価値を最大化

※2024年3月末時点のdポイントクラブ会員数

5つのシナジーの実現を目指す

① 日用消費財メーカーに向けたID ベースかつ一気通貫型の生活者中心マーケティング支援

② 流通小売におけるバリューチェーントータル支援

③ 顧客満足度（CS）、従業員満足度（ES）領域における新規事業領域への進出

④ 耐久消費財メーカー・サービス企業に向けた生活者中心のフルファネルマーケティング支援

⑤ ヘルスケア関連産業における社会課題解決力の強化

進捗状況

全体進捗	シナジーセグメント毎に、両社でワーキンググループを設置し、シナジーの立ち上げを推進中 シナジー①：複数のFMCGメーカーに対し、当社グループとドコモの商材・サービスを活用した 共同提案を開始中 シナジー②：ドコモが推進する「ドコモリテールDXプログラム」の中で、当社グループとドコモの持つデータ活用を目指す取り組みとして、 リテールメディアについてPoCに向けた準備が進む 全体：(株)インテージの全体集会においてドコモとのシナジー推進に向けたビジネス理解の機会について共有
DIMの子会社化	当社とドコモの合併会社である (株)ドコモ・インサイトマーケティングの2024年7月1日付の完全子会社化予定 についてリリース。機動的な経営の意思決定、製販一体化による事業効率性の向上を可能にし、迅速な顧客対応や顧客期待に応えるサービス提供を実現することで、更なる事業成果の貢献を見込む
シナジーの業績効果	2024年8月の期末決算発表および次期業績予想の公表時に、ドコモとのシナジー創出による業績効果について発表予定



appendix

四半期ごとの商品別売上高

単位：百万円		1Q			2Q (累計)			2Q (単体)		
		22年6月期	23年6月期	24年6月期	22年6月期	23年6月期	24年6月期	22年6月期	23年6月期	24年6月期
C G & S	パネル	3,499	3,576	3,728	7,301	7,454	7,801	3,802	3,878	4,073
	CR-WEB	1,788	1,860	1,814	4,091	4,266	4,189	2,303	2,406	2,375
	CR-WEB以外	951	977	803	2,050	2,072	2,064	1,099	1,095	1,261
	Co	631	713	579	1,330	1,367	1,178	699	654	599
	海外	1,043	1,359	1,293	2,128	2,796	2,630	1,085	1,437	1,337
	その他	702	695	796	1,263	1,283	1,378	561	588	582
H C	パネル	859	848	856	1,821	1,824	1,841	962	976	985
	CR	1,030	914	872	2,435	2,247	2,365	1,405	1,333	1,493
	CRO	794	855	730	1,662	1,749	1,460	868	894	730
	プロモーション	608	491	743	1,251	1,125	1,470	643	634	727
	その他	171	177	150	336	352	344	165	175	194
B I	SI	814	709	895	1,606	1,467	1,816	792	758	921
	BPO・保守運用	549	498	512	1,054	1,021	1,056	505	523	544
	DX	361	444	531	798	932	1,143	437	488	612

※ 同一セグメント内での商品区分の変更により、前年度までに開示した商品別の売上数値から修正が行われている場合があります。

※ BIセグメントの区分けは23年6月期から採用した分野別売上によっており、22年6月期は新しい区分けに従って遡及修正した数値を記載しております。

四半期ごとの商品別売上高

単位：百万円		3Q（累計）			3Q（単体）			4Q（累計）			4Q（単体）		
		22年6月期	23年6月期	24年6月期	22年6月期	23年6月期	24年6月期	22年6月期	23年6月期	24年6月期	22年6月期	23年6月期	24年6月期
C G & S	パネル	11,191	11,498	11,895	3,890	4,044	4,094	15,014	15,466		3,823	3,968	
	CR-WEB	6,600	6,639	6,675	2,509	2,373	2,486	8,148	8,321		1,548	1,682	
	CR-WEB以外	3,402	3,516	3,414	1,352	1,444	1,350	4,103	4,358		701	842	
	Co	2,104	2,026	1,886	774	659	708	2,794	2,713		690	687	
	海外	3,566	4,385	4,260	1,438	1,589	1,630	4,574	5,355		1,008	970	
	その他	3,396	3,347	3,454	2,133	2,064	2,076	3,866	3,937		470	590	
H C	パネル	2,712	2,732	2,756	891	908	915	3,578	3,620		866	888	
	CR	3,663	3,422	3,332	1,228	1,175	967	4,507	4,422		844	1,000	
	CRO	2,603	2,572	2,037	941	823	577	3,438	3,180		835	608	
	プロモーション	1,924	1,721	2,110	673	596	640	2,438	2,276		514	555	
	その他	470	506	520	134	154	176	589	654		119	148	
B I	SI	2,486	2,415	2,536	880	947	720	3,235	3,054		749	639	
	BPO・保守運用	1,627	1,668	1,637	573	647	581	2,221	2,148		594	480	
	DX	1,271	1,438	1,831	473	505	688	1,721	1,879		451	441	

※ 同一セグメント内での商品区分の変更により、前年度までに開示した商品別の売上数値から修正が行われている場合があります。

※ BIセグメントの区分けは23年6月期から採用した分野別売上によっており、22年6月期は新しい区分けに従って遡及修正した数値を記載しております。